

ダム等管理フォローアップ

意見を受けての報告書修正対応表

【一庫ダム】

平成22年 3月

水資源機構
関西支社

【一庫ダム】

1. 事業の概要
特になし

2. 治水
特になし

3. 利水
特になし

4. 堆砂
特になし

5. 水質
特になし

6. 生物

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
6.3.4 ダム湖周辺における変化の検証 本編 P6-122	・植生図の植生割合が定期報告書にあるが、平成8年と平成13年の群落の標記が異なっている。調査結果について確認していただきたい。	【委員会の意見により修正】 ・既往調査の群落区分を植物社会学に基づき詳細に見直した結果、群落名が変わっている。また、これら群落を詳細に区分する件や群落名称の付け方は、学識経験者であるアドバイザーの助言を受けつつ行っている。 （一例として、平成8年までアカマツ群落としていたものを、平成13年には同じアカマツ群落でも、調査箇所の状況により自然植生（シノブーアカマツ群落）と代償植生（モチツツジアカマツ群落）に分類）。よって、別添資料を追加し、群落名の変化が分かるようにする。	・平成18年に河川水辺の国勢調査で作成する植生図の凡例の統一を図る目的で群落リストが作成されている。よって、今後の調査時は、原則としてその群落リストに従って記録していく。

7. 水源地域動態
特になし

8. その他

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
治水	・洪水調節については、中小洪水に対する対応を重視し計画変更になっているが、毎年、河川改修は進んでいることなどから本来の計画に戻す検証を今後していただきたい。	－	・現在の河道の状況（銀橋等）では、放流量を増やすと厳しい状況である。
水質	・貯水池水質については水質障害が生じているのであるから、変化がないといえない。アオコが毎年発生している原因は何か。	－	・COD、T-Nが近年上昇している。T-Nのうち無機態窒素の割合が多く、そのことがアオコの発生に至っていると考えられる。問題視しており曝気を増やし、水質改善に取り組んでいく。
生物	・下流の土砂供給やフラッシュ放流における影響について、魚類、底性生物のみではなく植物についても調査していただきたい。	－	・毎年、ダム下流で実施している河川植生調査において植生の変化を把握していく。

(別添)

コドラートの比較(群落名)

コドラート 番号	コドラート 番号	1993年度	1996年度	2001年度	調査対象環境
		群落名	群落名	群落・群集名	
1	49	マダケーモウソウチク群落	モウソウチクーマダケ林	モウソウチクーマダケ林	
2	50	アラカシ群落	アラカシ群落	ナナミノキーアラカシ群集	
3	27	クヌギ群落	クヌギ群落	—	
4	28	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	
5	22	クヌギ群落	クヌギ群落	クヌギ群落	
6	21	クヌギ群落	クヌギ群落	クヌギ群落	
7	37	コナラ群落	コナラ群落	—	
8	18	クヌギ群落	クヌギ群落	クヌギ群落	
9	16	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	4: スギーヒノキ林
10	15	クズーネザサ群落	クズ群落	クズーネザサ群落	
11	14	クズーネザサ群落	クズ群落	クズーネザサ群落	
12	13	ヌルデ群落	ヌルデ群落	クサイチゴータラノキ群集	
13	44	ススキ群落	ススキ群落	クサイチゴーススキ群落	
14	45	マダケーモウソウチク群落	モウソウチクーマダケ林	モウソウチクーマダケ林	
15	12	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	
16	10	ダム湖岸1年生草本群落(ヤブガラシ群落)	多年生蔓植物群落	オオオナモミーマルバハコウ群落	
17	46	ダム湖岸1年生草本群落(ヌカキビ)	オオオナモミ群落	オオオナモミーマルバハコウ群落	
18	9	ダム湖岸1年生草本群落(ブタクサ群落)	セイタカアワダチソウ群落	オオオナモミーマルバハコウ群落	
19	11	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	
20	8	ダム湖岸1年生草本群落(ブタクサ群落)	ブタクサ群落	オオオナモミーマルバハコウ群落	
21	7	ダム湖岸1年生草本群落(キシウスズメノヒエ群落)	キシウスズメノヒエ群落	—	
22	6	ダム湖岸1年生草本群落(オオオナモミ群落)	オオオナモミ群落	オオオナモミーマルバハコウ群落	
23	—	—	アレチヌスビトハギ群落	オオオナモミーマルバハコウ群落	
24	5	ダム湖岸1年生草本群落(ブタクサ群落)	アキメヒシバ群落	オオオナモミーマルバハコウ群落	
25	4	ダム湖岸1年生草本群落(マルバハコウ)	オオオナモミ群落	オオオナモミーマルバハコウ群落	
26	48	岩角地低木群落	多年生蔓植物群落	—	
27	3	コナラ群落	コナラ群落	アベマキーコナラ群集	
28	47	ネムノキ群落	ネムノキ群落	クサイチゴータラノキ群集	
29	2	アカマツ群落	アカマツ群落	モツツジーアカマツ群集	
30	1	コナラ群落	コナラ群落	アベマキーコナラ群集	
31	42	アカマツ群落	アカマツ群落	モツツジーアカマツ群集	
32	26	ダム湖岸低木群落(イタチハギ群落)	イタチハギ群落	クロバナエンジュ群落	
33	41	ダム湖岸1年生草本群落(オオオナモミ)	オオオナモミ群落	—	
34	23	クヌギ群落	クヌギ群落	クヌギ群落	
35	39	ダム湖岸1年生草本群落(メリケンカルカヤ)	メリケンカルカヤ群落	—	
36	38	ダム湖岸1年生草本群落(オオオナモミ)	オオオナモミ群落	—	
37	25	クズーネザサ群落	ネザサ群落	クズーネザサ群落	
38	35	コナラ群落	アカマツ群落	モツツジーアカマツ群集	
39	24	クヌギ群落	クヌギ群落	—	
40	20	ヌルデ群落	コナラ群落	—	
41	19	アカマツ群落	アカマツ群落	モツツジーアカマツ群集	
42	36	オギーセイタカアワダチソウ群落	セイタカアワダチソウ群落	クサイチゴーススキ群落	
43	53	ヌルデ群落	ヌルデ群落	クサイチゴータラノキ群集	
44	40	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	スギーヒノキ植林	
45	17	コナラ群落	コナラ群落	アベマキーコナラ群集	
46	52	ヌルデ群落	ヌルデ群落	クサイチゴータラノキ群集	
47	51	アカメガシワ群落	アカメガシワ群落	クサイチゴータラノキ群集	
48	29	オニグルミ群落	オニグルミ群落	コミヤマミズーオニグルミ群集	
49	—	—	オオアレチノギク群落	—	
50	—	—	湿地性草本群落	—	
51	30	アカマツ群落	アカマツ群落	シノブーアカマツ群集	
52	—	—	湿地性草本群落	—	
53	—	—	湿地性草本群落	—	
54	—	—	湿地性草本群落	—	
55	31	ネコヤナギ群落	ネコヤナギ群落	ネコヤナギ群集	
56	32	ツルヨシ群落	ツルヨシ群落	ツルヨシ群集	
57	34	アカマツ群落	アカマツ群落	モツツジーアカマツ群集	
58	33	ススキ群落	ススキ群落	—	
59	43	アカマツ群落	アカマツ群落	—	
60	—	—	—	ネコヤナギ群集	
61	—	—	—	アブラチャンーケヤキ群集	
62	—	—	—	オオカナダモ群落	
63	—	—	—	モツツジーアカマツ群集	3: アカマツ群落
64	—	—	—	モツツジーアカマツ群集	4: アカマツ群落
65	—	—	—	ナナミノキーアラカシ群集	
66	—	—	—	クヌギ群落	2: コナラ群落
67	—	—	—	セイタカアワダチソウ群落	
68	—	—	—	アブラチャンーケヤキ群集	
69	—	—	—	クサイチゴーススキ群落	
70	—	—	—	ウリカワーコナギ群集	
71	—	—	—	クズーネザサ群落	
72	—	—	—	クヌギ群落	
73	—	—	—	クヌギ群落	
74	—	—	—	クヌギ群落	5: クヌギ群落
75	—	—	—	アブラチャンーケヤキ群集	1: コナラ群落
合計	—	53コドラート	59コドラート	59コドラート	

注): コドラート番号は、1996年度調査を基準につけた